

<b>A 1 4 0</b> <b>初 級</b> (演習あり)	<h2>問題特許発見時の対応</h2> <p>問題特許発見時の一次対応、特許侵害抵触判定 他社特許無効化、専門家への相談方法など</p>
講師	倉永 宏 (日本パテントデータサービス㈱ 顧問、元 NTT 知的財産センター 所長)
日程・場所	東京会場 7月11日(木)、10月17日(木)
時間	半日間 (13:30~16:30)
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	東京会場：24名 (先着順申し込み)
受講料	16,000円 (税込17,600円)
対象	知的財産部門の担当者、技術者
<b>内 容</b>	
<p>開発した製品や、開発途中の製品について、特許調査等で問題となる他社特許を発見することが少なくありません。その時、弁理士等の専門家に相談する前に、特許侵害の可能性について社内にて一次検討し、他社特許無効性の準備をすることで、迅速かつ確かな対応が可能となります。</p> <p>本セミナーでは、問題特許を発見した時の、侵害抵触判断の一次検討の仕方について演習を通じて習得するとともに、他社特許の無効化の検討のポイント、専門家への相談方法とその結果を受けた企業としての具体的なアクションについて、学んでいきます。特許知識のある知財担当者、技術者向けの研修です。</p>	
<b>プログラム</b>	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 自社製品と関係のありそうな問題特許を発見したら<ul style="list-style-type: none"><li>・ 他社特許の発見とビジネスリスクとの関連について</li></ul></li><li>2. 他社特許を発見した時の対応の流れ<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発見から、一次対応、専門家(弁理士・弁護士)への相談まで</li></ul></li><li>3. 自社製品と他社特許の関連性一次判断<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特許の侵害とは</li><li>・ 特許侵害抵触判定の実務</li><li>・ 演習</li></ul></li><li>4. 他社特許の無効化</li><li>5. 専門家(弁理士・弁護士)への相談方法と企業としての対応</li></ol>	

**【お申込み】**

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

**【備考】**

- ・ 一部演習を伴います。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

**【日本弁理士会継続研修について】**

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。